

2020 年度 西南学院の決算概要について

西南学院をはじめ私学振興助成法により補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準の定めに従い会計処理を行い、計算書類(決算書)を作成する必要があります。本学院の2020年度決算は、5月10日に監事監査を終了し、5月24日の定期理事会において承認されましたので、その概要についてご報告いたします。

(1) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、当年度から高等教育の修学支援制度が開始され、経常費等補助金に399,302千円を受け入れて授業料減免を行いました。

教育活動支出では、新型コロナウイルス感染症対策のため、遠隔授業への対応として学生へのPC等機器購入補助や学修支援金の給付を実施しました。一方で、諸行事や出張の中止により予算残が発生し、教育活動支出は、予算比で985,221千円少なくなりました。

人件費は7,293,580千円であり、経常収入に対する割合は56.6%と、全国平均(同系統法人平均)54.4%より大きな割合を占めています。教育研究経費は前年度より450,623千円増加し、経常収入に対する割合は28.8%で、全国平均(同系統法人平均)31.4%より小さい割合となっています。

事業活動収入は、前年度より196,014千円減少しましたが、予算比では3,773千円多くなっています。事業活動支出は、前年度より86,017千円減少し、予算比で1,109,925千円減少しています。この結果、基本金組入前当年度収支差額は予算より1,113,698千円改善され、1,116,170千円となりました。事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額の比率を示す事業活動収支差額比率は8.6%です。

基本金組入額は、大学3号館エレベータ改修、中学校・高等学校校舎自動ドア設置、大学東キャンパス南側レンガ塀更新、事務機器更新、教室等プロジェクト更新、遠隔授業用ファイルサーバの取得等に伴う第1号基本金347,574千円、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための第2号基本金370,000千円、大学奨学金等の第3号基本金101,038千円です。

基本金組入後の当年度収支差額は、予算より1,248,827千円好転して297,558千円の収入超過となりました。当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は2,615,173千円の支出超過となっています。

(2) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにするための計算書です。

当年度の資金収入は 18,113,020 千円で、前年度繰越支払資金 9,957,973 千円を合わせた資金収入の部合計は 28,070,993 千円となりました。一方、当年度の資金支出は 18,902,673 千円です。

資金収入の部合計から当年度の資金支出を控除した翌年度繰越支払資金は、前年度より 789,653 千円減少して 9,168,320 千円となりました。

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。

当年度末の資産の部合計は 72,562,499 千円で前年度より 1,090,057 千円増加、負債の部合計は 6,074,678 千円で前年度より 26,113 千円減少しました。その結果、純資産の部は前年度より 1,116,170 千円増加して 66,487,822 千円となりました。

資産の部合計の内訳は、固定資産では、有形固定資産が 41,123,742 千円、各種引当資産である特定資産が 12,739,323 千円、有価証券等を含むその他の固定資産が 9,118,080 千円です。流動資産では、現金預金 9,168,320 千円を含めて 9,581,354 千円となっています。なお、2009 年度末以降、借入金はありません。